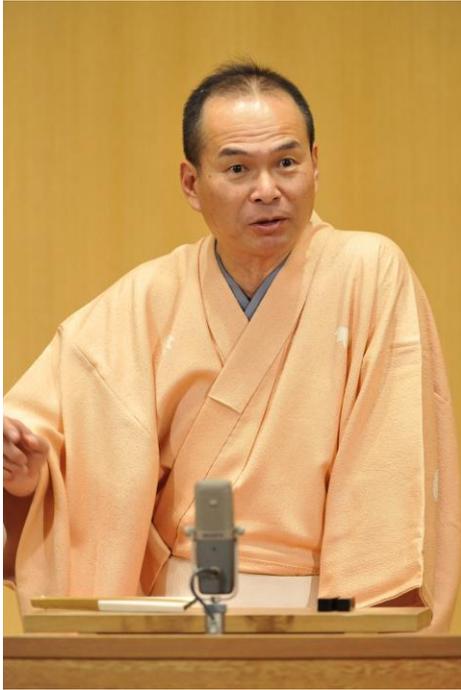


「羽曳野市文化大使」に笑福亭仁智氏が就任 — 委嘱式のお知らせ —

落語家で上方落語協会会長の笑福亭仁智氏（羽曳野市出身）を「羽曳野市文化大使」に委嘱いたします。

羽曳野市では、令和4年度より羽曳野市特命大使を制定し、文化、スポーツ、芸術など各界で活躍されている方で、本市にゆかりのある方に大使として委嘱し、羽曳野市の魅力発信をしていただきます。

解禁日	5月13日（金）朝刊以降 （インターネット版・ラジオ・テレビは5月12日 午後0時（正午）以降）
分野	羽曳野市特命大使「羽曳野市文化大使」 期間：委嘱日より3年
とき	令和4年5月12日（木）10時～11時30分
場所	羽曳野市立丹比小学校 体育館（羽曳野市郡戸190） ※丹比小学校は、笑福亭仁智氏の母校です
内容	10時00分 委嘱式開始 ・市長 挨拶・委嘱状交付・花束贈呈 ・笑福亭仁智氏 挨拶 ・（報道）質疑応答、写真撮影 10時30分 笑福亭仁智氏、山入端市長 対談 11時30分 終了
取材	・取材を希望される社は、事前にご連絡ください。 ・9時30分から受付します。丹比小学校体育館までお越しください。 ・取材中は腕章の着用をお願いします。 ・取材中はマスク着用、手指消毒など感染対策をお願いします。
問合せ	秘書課広報担当



笑福亭仁智 (しょうふくてい じんち)

[本名] 浅田晃一郎

[生年月日] 1952年8月12日 (69歳)

[出身地] 大阪府羽曳野市

[入門] 1971年 笑福亭仁鶴に入門 (一番弟子)

【経歴】

上方の古典落語と創作落語に取り組むかたわら、数々のテレビ・ラジオで活躍。2カ月に1度開催の「笑いのタニマチ」では、毎回新作のネタをおろし現代落語を追求している。

作品数100本以上の自作の創作落語は評価が高い。「スタディーベースボール」は、芸能鑑賞会などで毎年30以上の中・高校で上演されている。

一方、「上方落語喜講」を主宰し、平成4年『伊勢参り落語会』では歩いて伊勢参り。以降、各地の道中でふれあい寄席を開催し、収益金を寄付。

上方落語協会の会長として昨年には、「落語とビジュアルアートのアニューアレ」をスタート。落語の魅力を若い世代にも広める活動として、若手落語家の噺とアートを学ぶ学生がビジュアル化した作品を披露するプロジェクトを開始。総合プロデューサーを務める。

※アニューアレはイタリア語で「年に1度」

【受賞歴】

「文化庁芸術祭」平成15年度 (2003) 優秀賞 演芸部門

「大阪文化祭賞」平成10年度 (1999) 奨励賞 演芸部門